

癸気揚揚

第15号

自分と違う考え＝自分を成長させる大きな力

やっと暑さも和らぎ、秋の深まりを感じる季節となりました。暦の上では、すでに立冬を過ぎ、寒さが日に日に厳しくなる頃です。年末と言えば、もうすぐ期末考査ですが、勉強の計画は準備できていますか？学校生活では、勉強や部活動も限られた時間の中で一生懸命取り組んでいる皆さんであれば、きっと家庭での学習も計画性をもって臨むことができるはずです。勉強は苦手だと思っている人も平等に与えられた「時間」を味方に付けての努力を期待しています。

先日、本校の図書館で1冊の本に出会いました。『宙（そら）わたる教室』ある都立高校の夜間定時制が舞台となる作品で、現在、NHK総合テレビでドラマ化されています。クラスの生徒はわずか10人ほどですが、それぞれ年齢も性格も定時制の高校に入学した理由も全く異なる中、過去や現在で困難がたくさんありながらも理科の実験を通して**お互いを分かり合っていく**ストーリーです。

私はこの作品を読み、今の皆さんに伝えたいことがあります。皆さんは、性格も育ってきた環境も一人一人違います。そのため、考え方や生き方が同じであることは決してありません。それでもこの足立新田高校に入学しなければ出会えなかった大切な仲間です。学校生活を共にすることで、気の合う人との出会いもあれば、意見が合わない人とも出会います。よくよく考えてみてください。社会に出れば自分と同じ考えを持つ人との出会いは、ほんの一握りです。自分の考えていることが正しいと思い込み、自分と違う相手の気持ちに対して耳をふさぎ、考え方を変えなければ、自分の世界は狭いままとなり、そのまま成長していくこともできなくなってしまいます。

自分と違う考えを持つ人との出会いは、自分の考えを見直すきっかけにもなり、自分が当たり前だと思っていたことが、実はそうでないかもしれないと気づかされることのあるのです。自分の知らないことや経験してこなかったことに触れることは、どうやって相手の考えを理解し、どうやって自分の考えを伝えるか、コミュニケーションをとおした人との関りが自分を成長させてくれるはずです。皆さんとの出会いにあらためて感謝し、皆さんの成長を期待します！

頑張れ新田生！
和6年11月

